

## 論文タイトル

「滅菌調整タルクでの胸膜癒着術後異物反応肉芽腫を形成した肺癌の1例」

山根高, 浦田知之, 寺田潤紀

所属先: 高知医療センター呼吸器内科

## 要旨

症例: 52歳男性. 肺腺癌に対して1次治療の化学療法を施行中, 左癌性胸膜炎を発症し, 滅菌調整タルクでの胸膜癒着術を施行した. 2次治療の化学療法中にタルクでの胸膜癒着術2ヵ月後, CTでドレナージチューブ挿入部位に一致する部位に皮下から胸壁にかけて一部に高吸収域を伴う腫瘤の出現を認めた. 皮膚生検ではタルクによる異物反応肉芽腫と診断した. タルクでの胸膜癒着術後には, タルクによる異物反応肉芽腫をきたすことがあり, CTでは高吸収域が癌との鑑別に有用である可能性がある.

キーワード: 胸膜癒着術, タルク, 異物反応肉芽腫, 高吸収域

Pleurodesis, Talc, Foreign body granuloma, high attenuation area

短縮タイトル: タルクでの胸膜癒着術後異物反応を形成した肺癌